

## 全国集会ヒアリング調査まとめ

### ①学校・進路・就職（社会生活）

## 目次

|                 |   |
|-----------------|---|
| 授業.....         | 1 |
| 【良かったこと◎】 ..... | 1 |
| 【悪かったこと△】 ..... | 2 |
| 学校生活.....       | 3 |
| 【良かったこと◎】 ..... | 3 |
| 【悪かったこと△】 ..... | 4 |
| 仕事.....         | 5 |
| 【良かったこと◎】 ..... | 5 |
| 【悪かったこと△】 ..... | 5 |
| 進路・就職.....      | 6 |
| 【良かったこと◎】 ..... | 6 |
| 【悪かったこと△】 ..... | 6 |

## 授業

### 【良かったこと◎】

- ・オンライン授業では精神的にも時間的にもゆとりができて過ごしやすかった。オンライン授業そのものが良いというよりも、余裕のある生活ができたことが良いと感じたので、今後、働き方や生き方などに余裕のある社会づくりが進んでほしい。（中部地方・大学3年生）
- ・オンライン授業の方が朝起きなくていいし、楽だった。友達もみんなオンラインの方が好き。（中国地方・高校3年生）
- ・コロナでオンライン授業になり、時間的にも精神的にも余裕がある生活を送れた。（中国地方・高校3年生）
- ・授業は正直オンラインが良い。通学時間と交通費を削ることができるし、心に余裕がもてる。でも実技は対面が良い。（九州地方・専門学校1年生）
- ・正直に言うとオンライン授業のほうが楽に感じている。オンライン授業ならイヤホンつけて講義内容だけに集中できたが、対面だと、教室に人が集まるから騒がしくなるし、人がいる以上集中力が持っていられる。（近畿地方・大学2年生）
- ・オンライン授業慣れもあり、対面授業は面倒くさいと感じる。授業はオンライン賛成派である。（近畿地方・大学4年生）

- ・これ以上休むと単位取れないって時に、学校が休止になって単位が取れたため良かった。

(九州地方・高校3年生)

- ・オンライン授業は定期代がかからないというメリットがある。(九州地方・専門学校2年生)
- ・理系であるため、すぐ対面授業が再開し、今は比較的コロナ前と変わらない学校生活を送れている。(中部地方・大学3年生)
- ・オンライン授業を経験したことで改めて大学で専門知識を学べること、図書館などの自由に使える学習環境があることへのありがたさを再確認した。(中部地方・大学3年生)
- ・対面とオンラインで参加方法を選べるが、なるべく学校に行くようにしている。(中部地方・大学院1年生)

#### 【悪かったこと△】

- ・アウトドアの自分にはオンライン授業がきつかった。(北海道・大学4年生)
- ・課題は減らないのに、負担だけがどんどん増えてきている。(関東地方・大学2年生)
- ・オンライン授業がずっと続いている。ゼミもオンラインになったためショックだった。  
(近畿地方・大学3年生)
- ・オンラインでもしっかりと対応してくれるなら、オンライン授業でも良いが、先生によっては授業料に見合わないやり方をする先生がいる。(北海道・大学4年生)
- ・オンデマンドは、好きな時にできるため良いが、資料だけUPされている先生もいるため、とても難しいと感じる時もあった。(関東地方・大学3年生)
- ・オンライン授業時のサポートが先生によってばらつきがあった。総じて親切ではなく分かりにくかった。(中国地方・高校3年生)
- ・オンライン授業は、分かりにくい。私学のため塾に行っていない人が多く、質問ができない環境だったためネットやアプリで必死に調べるしかなくて大変だった。  
(中国地方・高校3年生)
- ・分からないことを聞けるため対面授業の方が楽。(九州地方・専門学校2年生)
- ・オンライン授業だと、わからないときに周りに聞けず、「他の人はどれだけこの講義の内容がわかっているのだろうか、おいていかれてないか」と不安だった。(近畿地方・大学2年生)
- ・オンライン授業だった時は、大学の図書館にも行けないため学部の専門科目に関わる参考書や専門書を閲覧できず、課題の取り組みに困った時があった。(中部地方・大学3年生)
- ・対面で授業が行えていたほうだが、基本的には受け身でグループディスカッションなどが実施できなかったことが残念だった。(東北地方・短期大学2年生)
- ・先輩が感染対策の観点から実習が行えなかったなどという話を聞き、自分も同じような状況になるのではないかと不安を感じている。(関東地方・大学2年生)
- ・自宅のWi-Fiが電子レンジと干渉してしまい、Zoom講義を家で受けていたら落ちた。  
(近畿地方・大学2年生)
- ・同じ大学でも文系と理系で対面授業再開の割合が異なっている理由がよく分からない。(中部地方・大学3年生)
- ・オンライン授業だった時は、家にいても集中できないため、大学の空き教室に潜り込んで電源

と Wi-Fi つないで静かな教室で講義を受けていた。(近畿地方・大学 2 年生)

- ・ オンデマンドや zoom だと聞き流しちゃうし何も身につかない。課題も溜めちゃう。

(近畿地方・大学 3 年生)

- ・ コロナ前の 1 年の時の記憶は結構あるのに、オンライン授業になってからのことがあまり思い出せない。(近畿地方・大学 3 年生)
- ・ オンライン授業だと時間だけが過ぎていく。せっかく大学に入ったのにもったいない。何のために大学に通っているのか？(近畿地方・大学 3 年生)
- ・ 講義形式も先生によってばらばらで、思っていた大学生生活とは大きな隔たりがあって、「オンライン授業なら放送大学でよくないか」と休学を考えた時期もあった。(近畿地方・大学 2 年生)
- ・ オンデマンド講義となったことで人と接する機会が減りすぎてメンタル的にはきつかった。大学で静かに講義受けて課題するほうが楽だった。(近畿地方・大学 2 年生)
- ・ いきなりオンデマンドの講義から大学生生活が始まって、大学での学生生活は緊急事態宣言に振り回されたような感じがする。(近畿地方・大学 2 年生)
- ・ 同じ専攻やコースの人の名前がわからないし、講義担当の先生の顔と名前が一致しない。(近畿地方・大学 2 年生)
- ・ 課題の分からないところをわいわいしながら調べたり、同じ講義を取っている人と「この問題どうだった？」みたいな些細な会話をしたりというのがないのが辛かった。(近畿地方・大学 2 年生)
- ・ いつまでオンライン授業を続けるつもりなのか。大学はただ責任を取りたくないだけのように感じる。(東北地方・大学 3 年生)

## 学校生活

### 【良かったこと◎】

- ・ 卒業アルバムの撮影でカメラマンが来ているが、アルバムに乗りそうな楽しい雰囲気が全くない。友達とは「これもそういう時の思い出だね」と話しており、あまり気にしてはいない。  
(中国地方・高校 3 年生)
- ・ 自分の担任の先生はコロナで色々な行事が制限されることに対して、「申し訳ないねー」と言ってくれ、少しでも思い出に残るように、体育祭が終わった後にアイスを配ってくれた。同じ学校・学年でも担任の先生によって対応が違うため、学校生活での思い出や気持ちも変わる。  
(中国地方・高校 3 年生)
- ・ 大学に入ってから SNS (Twitter) を始めたことで、情報が入ってくるようになった。正直、SNS に助けられたところはあって、SNS でつながったからその後の対面授業での友人との関係構築のしやすさにつながった。(近畿地方・大学 2 年生)
- ・ 最近是对面授業が増え、週 4 日大学に行くようになった。大学で会う人も増えたことで、人脈が広がり、色々な人と関われるようになった。ようやく少し大学生らしい生活となったのかなと思う。(近畿地方・大学 2 年生)
- ・ コロナの影響で、“学生時代にやりたかったことがやれなかった”とは特に感じていない。(九州地方・専門学校 2 年生)

【悪かったこと△】

- ・修学旅行がなくなり、代替案（日帰りの研修）もなくなった。他の学校は日帰りで行っていたみたいだが、自分たちの学校は何もないまま終わった。友人とも「コロナだから仕方ない。卒業したら遊びに行けばいいし、もういっか。」と諦めて納得した。（中国地方・高校3年生）
- ・高校からの修学旅行などのイベントや授業のやり方・日数について何も説明や謝罪がなく、ただ指示されるだけ。何に対しても説明がない学校なので、諦めの気持ちが強い。  
（中国地方・高校3年生）
- ・昼食は黙食絶対。見回りをする先生がいて、喋っていると注意された。異常な光景で“ヤバい”。監視されているように感じ、「近づいて来ないでほしい」と思った。（中国地方・高校3年生）
- ・今年は文化祭、体育祭ともにあったが、小規模で面白いところが全て感染症対策のために削られた。“ただ言われたことをやっただけ”で全く楽しくなかったし、思い出もない。（中国地方・高校3年生）
- ・高校にいと、「先生の言うことに従え」といった空気になるため、コロナに関して反抗したり意見をいったりすることもない。（中国地方・高校3年生）
- ・コロナになってずっとマスクをしており、昼食も前を向いているため、同じクラスにいても顔を知らない、ピンとこない人ばかり。ただ一緒に空間にいる人になってしまう。（中国地方・高校3年生）
- ・受験も近く高校生活も終わりに近づいているため、「もういいかな」って気持ち。思い出もなく終わってしまう高校生活。（中国地方・高校3年生）
- ・高校生で学校生活がメインのため、コロナ禍の高校生活は窮屈だった。感染症対策に関して、教師から監視されているようで本当に嫌だった。（中国地方・高校3年生）
- ・高校3年の行事は、中止になった。また、遠足でのBBQが海ではなく学校の運動場で行われたため残念だった。（九州地方・専門学校1年生）
- ・大学の入学式はコロナ禍で中止になり、ガイダンスも簡略化されたが、元々どんなものなのか知らないため比較のしようがない。（近畿地方・大学2年生）
- ・大学の新生歓迎イベントはなくなり、サークルに関してはサークルガイドをもらっただけで何も分からなかった。（近畿地方・大学2年生）
- ・大学祭は中止かオンラインなため、私たちの代は対面での学園祭を全く知らない。（近畿地方・大学2年生）
- ・学校に行くメリットは友人と話すことや出会いを求めるだけ。（近畿地方・大学4年生）
- ・対面授業が再開しても、グループワークを控える傾向にあるので出会いも少ない。（近畿地方・大学4年生）
- ・人生の夏休みと言われる大学生活の半分をコロナに奪われてコロナが憎い。（近畿地方・大学4年生）
- ・入学式が行われずにオンライン授業が始まったため、自分が短大生であるという実感がないまま今に至っている。（東北地方・短期大学2年生）

- ・研修旅行や短期留学、学祭といった楽しみにしていた行事が何ひとつできないまま卒業することになるので、心残りがあある。(東北地方・短期大学2年生)
- ・大学の行事がなかったので、交友関係の広げ方に苦戦した。(東北地方・短期大学2年生)
- ・入学式や文化祭などの行事がすべて中止となり、大学生という実感が未だに湧いていない。  
(関東地方・大学2年生)
- ・入学した年は全ての授業がオンラインだった為、交友関係に苦戦した。(関東地方・大学2年生)
- ・入学式は短縮になり、規模も縮小されたため、形だけだった。(九州地方・専門学校2年生)
- ・対面授業が再開したが、昼食の際は自分の席で黙食をしなければならず、コミュニケーションをとる機会がないのが残念である。(関東地方・大学2年生)
- ・卒業式の時に、後輩との写真撮影ができなかった。(九州地方・社会人)
- ・コロナの影響で、自分の専門に関わる外部イベントへの参加が出来なかった。結果次第では、就職に有利になるため、重要なイベントだった。(九州地方・専門学校2年生)
- ・コロナの影響で大会が中止になり、新入生歓迎会の呼び込みでは、対面ではなくオンラインだったので苦労した。(中部地方・大学院1年生)

## 仕事

### 【良かったこと◎】

- ・精神的にもう少しで壊れそうだったので、今年3月に正社員をやめてフリーターになった。今はカラオケ店でアルバイトをしている。発達障害があるが、バイト先の店長の理解もあり、今の職場は働きやすく、楽しく仕事ができている。(東北地方・社会人(フリーター))
- ・職場が教育関係であるため、コロナ対策にはすごく神経を使った。上司からコロナ対策について細かく聞かれたりしたため、責任が重く、すごく怖かったが、同時に信頼も得られたためそこは良かった。(中部地方・社会人)

### 【悪かったこと△】

- ・元々体が弱いため、夜勤ありのカラオケアルバイトは肉体的にきつい。(東北地方・社会人(フリーター))
- ・職場でのセクハラやパワハラがあり、ストレスを感じている。誰にも相談できなかった。(九州地方・社会人)
- ・社会人2年目。今は、小学校で音楽専科の講師(常勤)をしている。本当は、中学校の音楽教師になりたいが今の生活環境を考えると、フルタイムで働き続けるのはキツイ。  
自分のキャリアアップを考えたら、教員採用試験に合格してフルタイムで働くのがいいと思うが、免許を取るにもお金がかかるし、奨学金の返済があるため、簡単には決められない。自分のキャリア、私生活(結婚、出産)、奨学金の返済(経済面)などさまざまな面を考慮すると、今後の働き方はまだ決めかねている。(中部地方・社会人)
- ・「手に職つけろ」と昔から言われてきたが、女が資格を持った方がいいのは“こういうこと”なんだと最近実感している。結婚や出産をしても、どこでも働けるスキルが欲しい。(中部地

方・社会人)

- ・働きだしてから、最終学歴によって給料が違うことなどを知り、差を感じることもある。自分は短大卒だから、4年まで大学に行っとけばよかったと思う時がある。(中部地方・社会人)
- ・同年代との所得格差はこれから年を追うごとに増していくと思うので、不安に感じている。  
(九州地方・社会人(フリーター))

## 進路・就職

### 【良かったこと◎】

- ・保育の短期大学を卒業したら、社福を取れる大学に編入したい。その後九州にこだわらず全国の福祉施設(居場所支援、介護施設)で働いて経験したい。(九州地方・高校3年生)
- ・親が運営する施設でバイトした経験から、将来はもっと働く人もいい環境で働けるような施設を起業したい。(九州地方・高校3年生)
- ・今は病院の調理補助をしており、いずれ調理師免許を取って、養護施設の調理師になりたい。  
(九州地方・社会人)
- ・今後も今のアルバイト(高級クラブ)を続けていく予定。今のところは将来への不安は特になし。(九州地方・社会人(フリーター))
- ・就職活動の面接はオンラインが多く、交通費がかからないというメリットがある。(九州地方・専門学校2年生)
- ・就職活動の一環で、インターンに参加している。対面とオンラインが選べるが、対面を選んでいる。オンラインだと手間がかからないが、実際に会社に行かないと分からないことがたくさんある。(中部地方・大学院1年生)

### 【悪かったこと△】

- ・コロナ禍で日本の経済状況が悪化していること、失業者や生活困窮者が増加していることをニュースで毎日聞く中で、自分の将来、就職について不安に感じている。(中部地方・大学3年生)
- ・コロナ前はやりたいことや夢などを重視して考えていたが、コロナを経て、ライフプランや職業の安定性、自分の性別(出産・子育て)など現実的なことをよく考えるようになった。(中部地方・大学3年生)
- ・理系で大学院に進学するつもりではあるが、経済的なことや就職のことを考えると不安である。就職難・不景気で第二の氷河期世代がくるかもしれないといったニュースを聞き、大学卒業後の生活に良いイメージがない。(中部地方・大学3年生)
- ・自分は進学したが、就職した人のなかでは、コロナのせいで一方的に内定取り消しになった人もいた。(九州地方・専門学校1年生)
- ・コロナ禍で安定した職業に就職 or 資格が取れる学校に進学する人が増えていた。特に医療系の倍率がすごく高い。(九州地方・専門学校1年生)
- ・進路はなんとなく観光系の分野に進みたいと思っていたが、コロナで観光系は全滅状態。(近畿地方・大学4年生)

- ・コロナの影響により、親からは「こんな状況だから九州に残れ」と言われ、行きたい大学の選択肢が減った。(九州地方・高校3年生)
- ・親には県内就職を希望しているが、県外に出ないと就職先がないため悩んでいる。(九州地方・専門学校2年生)
- ・航空関係に就職したいと考えていたが、コロナの影響でその業界が打撃を受けたため、進路変更することを考え、編入を希望することにした。(東北地方・短期大学2年生)
- ・就活で秋田、盛岡もいいなと思っていたけど、コロナ禍で将来の道が狭まったかなと思う。  
(東北地方・社会人(フリーター))
- ・日々の生活で手がいっぱい将来についての不安を考えている余裕がない。(東北地方・社会人(フリーター))
- ・母は私が就職すると思っていたので、編入したいと話したときは主に経済的な面です承を得るのに時間がかかった。(東北地方・短期大学2年生)
- ・就職先が決まっていなく焦っている。また、就職後に職場に馴染めるかも不安。(九州地方・専門学校2年生)

## 全国集会ヒアリング調査まとめ

### ② 経済面

#### 目次

|                    |    |
|--------------------|----|
| 支出 .....           | 8  |
| 【良かったこと◎】 .....    | 8  |
| 【悪かったこと△】 .....    | 9  |
| 収入（アルバイト、仕事） ..... | 9  |
| 【良かったこと◎】 .....    | 9  |
| 【悪かったこと△】 .....    | 10 |
| 奨学金 .....          | 11 |
| 【悪かったこと△】 .....    | 11 |
| 学費 .....           | 11 |
| 【悪かったこと△】 .....    | 11 |

#### 支出

##### 【良かったこと◎】

- ・短大生活を通して、コロナの影響で外食や旅行に行く機会がほとんどなかったので、出費は想定よりも少ないように感じる。（東北地方・短期大学2年生）
- ・恋人と同棲しているため、生活費は折半（1人7万程度）。その中から貯金も行い、計画的にお金を使っている。（中部地方 社会人）
- ・母親と同居＋授業料免除＋給付奨学金受給中であるため、経済的な変化はなく、目の前の生活には困っていない。（中部地方・大学3年生）
- ・授業料が免除になっているので、授業料の納付はなく、3年になり教科書代もかからなくなってきたため、支出は少ない。（近畿地方・大学3年生）
- ・給付奨学金＋バイト代（週5、7～8万）で十分貯金もできる。経済的には困っていない。
- ・田舎だから家賃安く助かっている。旅行や遊びも減ったため、全体的な支出も減った。（近畿地方・大学3年生）
- ・お出かけの機会もなく、充実したおうちライフ（本をよんだり、一人で好きなことをする）を満喫したため、お金に困ることはなかった。（中国地方・高校3年生）
- ・今年の8月くらいから、国の就学支援制度により月1万円程度学費が免除されるようになった。上手く親の収入的に減免に引っかかったので嬉しい。（中国地方 高校3年生）
- ・初めての緊急事態宣言の時に携帯大手3社のギガ使い放題が助かったが、格安携帯の人も使えるようにするといいいのではないか。（近畿地方・大学4年生）
- ・収入・支出ともにコロナの影響はあまり受けていないと思う。（九州地方・専門学校1年生）

- ・あまり出費したくないため、無駄な飲み会を控えている。(九州地方・社会人(フリーター))
- ・実家暮らしで生活費を親に負担してもらっている。改めて親に頼りっぱなしだと思う。親にマジ感謝。(九州地方・社会人(フリーター))

#### 【悪かったこと△】

- ・好きなものにお金を使い、貯金が減った。(北海道・大学4年生)
- ・生活費を減らすため、食費を抑える努力をしている。(東北地方・社会人フリーター))
- ・祖母、祖父に何かの際に1-2万円もらうなど、生活の支援をしてもらっているので申し訳ない気持ちがある。出世払いできるのかどうか不安。(東北地方・社会人フリーター))
- ・客観的には経済的に困っているように見えるが、自分の主観的には生活はまあなんとかなっている。コロナ前からお金には苦労しているので、生活が苦しいのは変わっていない。(東北地方・社会人フリーター))
- ・最近銀行から生活資金として10万円を借りた。月2000円の返済で4年程度かけて返済をしていく予定。(東北地方 社会人フリーター)
- ・生活保護を受給するかどうか迷っている。(東北地方・社会人フリーター))
- ・月15万円程度で親+自分の生活費を賄っている。母親に携帯代と生活費を合わせて月に2万円ほど入れている。(東北地方・社会人フリーター))
- ・外出や外食などの機会が著しく減少した為、出費が抑えられている反面、家にいる時間が増え、光熱費は増加した。(関東地方・大学2年生)
- ・仕事で車を使うため、車関係で月5万程の維持費が大変。(中部地方・社会人)
- ・大学からの食事支援があった。2,500円分の生協での食事券をもらったが、対面授業がなく生協の開店時間も短いため使えていない。(近畿地方 大学3年生)
- ・交際費はかからないが、仕事柄、ネイルやドレスの購入費がかかるため、お金は貯まらない。(九州地方・社会人(フリーター))
- ・部活動を始めたためお金がなくなったが、特にコロナが影響しているということはない。(関東地方・大学2年生)

#### 収入(アルバイト、仕事)

#### 【良かったこと◎】

- ・公務員であるため経済面で影響はなく、収入は安定している。(中部地方・社会人)
- ・コロナ前から働いていた居酒屋が閉店したが、バイトは探せばたくさん見つかったので、すぐに次のバイト先(モスバーガー、うどん屋、居酒屋)が見つかった。バイトを掛け持ちした結果、収入も増えた。(近畿地方・大学3年生)
- ・アルバイトは母子生活支援施設でのスタッフをしている。コロナでの小学校の臨時休校を受けて、自分のシフトが増えたりしたなど、恩恵も受けた。(中部地方・大学3年生)
- ・セブンイレブンでアルバイトをするようになった。巣ごもり需要を受けてコンビニは忙しくなり、シフトも増えた。(北海道・大学4年)
- ・コロナでシフトが減ったため、新しくバイトを始めた。収入としては減ったが、福利厚生がし

っかりしているため大きく影響はない。(北海道・大学4年生)

- ・アルバイト先は外国人の来店が7割だったが、コロナで激減した、しかし、給与面は変わらなかった。(九州地方・専門学校1年生)
- ・コロナによる経済面の影響は特に受けておらず、むしろ一時期、時給が上がった。(九州地方・社会人(フリーター))
- ・収入面でコロナの影響は受けていない。(九州地方・社会人(フリーター))
- ・緊急事態宣言が出ていた時に、ホームセンターでアルバイトに入りまくり短期間で物凄く稼げた。(中部地方・大学院1年生)
- ・コロナ前からシフト制でのバイトを入れる時間がないほど忙しく、単発バイトで働いている。バイトでの収入の大きな変動はなかった。(近畿地方・大学2年生)
- ・大学もなく暇なため、夜勤も組み合わせてたくさんバイトをしている。今後何があるか分からないので、社会人になる前までに貯めておきたい。(近畿地方・大学3年生)
- ・現時点で経済的に困ってはいないが、コロナ禍で将来への不安を感じ、少しでも貯蓄を増やすため、単発バイトを始めた。頻度は少なく収入も微々たるものではあるが、何かあった時のためにお金を貯めること、多くはないがまとまった貯金があることが安心につながっている。(中部地方・大学3年生)
- ・現在、アルバイトはしていない。以前、親が運営する施設でバイトをしていたため、今はその貯金を使っている。今後は、学校がひと段落したら、アルバイトを始めたいと思っている。(九州地方 高校3年生)
- ・増えたり、減ったりすることは特になく、現状維持の状態である。(関東地方・大学3年生)
- ・社会人2年目になり、給料が増えて貯金が少しずつ出来るようになった。(九州地方・社会人)
- ・コロナをきっかけに、株や仮想通貨やNISAなど投資に興味が出てきた。(九州地方・社会人(フリーター))

#### 【悪かったこと△】

- ・正社員からフリーターになったので、月収 3-4 万円収入が減った。さらに父親からの養育費が 20 歳で切れたので、3 万円の収入が減った。(東北地方・社会人(フリーター))
- ・清掃のバイトをしていたが、ストレス性の症状のことを責任者に言ったら、清掃バイトをクビになった。(北海道・大学4年)
- ・入学当初は、アルバイトが見つからなかったため、経済的な不安を抱えていた。(東北地方・短期大学2年生))
- ・アルバイト代のほとんどは、来年編入する大学での新生活でかかる費用のために取っておく必要がある。(東北地方・短期大学2年生)
- ・昨年アルバイトを辞め、新しくバイトを始めたが感染拡大防止に基づき、営業時間が短縮されてしまった為、以前より収入が減少してしまった。(関東地方・大学2年生)
- ・飲食店でアルバイトをしている。コロナ初期には、パートさんが、コロナが怖かったので代わりに入っていたので自分の給料は増えた。しかし、今年の夏ごろのコロナ再拡大時にはではメ

インで入っていた夜の営業が休みになり給料は減った。(近畿地方 大学4年生)

- ・今年、独立リーグでアルバイトをしていたが、チーム内でクラスターが2度発生し、試合数が減り思いのほか稼げなかった。(近畿地方・大学4年生)
- ・前働いていたところは今年の2月末にコロナの影響で閉店した。2月頭に急に閉店のお知らせを受け驚いたが、すぐ次のバイト探しをした。(近畿地方・大学3年生)
- ・高校生の時はバイトが出来ず、交通費・食費・学費があまり払えなかった。小遣いももらえなかった。(九州地方・社会人)
- ・コロナにかかった。10日ほどホテル療養したが、個人事業主のため休業補償がなかった。(九州地方・社会人(フリーター))
- ・コロナで観光客がいなくなったため、観光客相手のアルバイトをしていた友人は辞めていた。(九州地方・専門学校1年生)
- ・塾のアルバイトは休講などもあり、収入は減った。(中部地方・大学院1年生)

### 奨学金

#### 【悪かったこと△】

- ・大学生向けの給付金の条件が厳しいことが分かった。(関東地方・大学3年生)
- ・給付・貸与の奨学金を借りている。来年から社会人になり、総額600万円の返済をしないといけない。(北海道・大学4年)
- ・高校の際に受給していた奨学金の返済を行っている最中だ。(東北地方・社会人(フリーター))
- ・奨学金が生活費のほとんどを占めている。周りは仕送りをもらっている人が多いので、たまにうらやましく感じる時がある。(東北地方・短期大学2年生)
- ・大学2年間で借りた100万弱の奨学金を、月8千円の返済ペースで返している。収入が無くなった時のことを考え、月々の返済金額は最低ラインに抑えている。なるべく貯金に回し、まとまったお金が貯まった段階で一括返済したいと思っている。(中部地方・社会人)
- ・生活面で困っていることはないが、奨学金の返済が一番のネック。在学中は、働きだしたら収入があるし、1年ぐらいで返せるかと思っていたが、実際に生活を始めてみると日々の出費や引っ越し等の予定外の出費でお金が飛んでいくため、全額返済までは遠いと感じ気が重い。(中部地方・社会人)
- ・学費はJASSOの給付型奨学金で賄っているが、授業料以外の備品代などがかかり、学校関連の出費が多い。

### 学費

#### 【悪かったこと△】

- ・対面授業もなく、質が高いとは言えないオンライン授業なのに月5-6万円の学費は変わらず不満だ。(中国地方・高校3年生)
- ・コロナ禍での学費だが、授業料は仕方ないと思うが、施設費は安くしてほしい。(近畿地方・大学4年生)
- ・メールすら帰ってこない先生がいて、そのような授業に満額の授業料を払うのは納得できない。(北海道・大学4年生)

## 全国集会ヒアリング調査まとめ

### ③ 家族・地域

#### 目次

|                    |    |
|--------------------|----|
| 家族関係.....          | 12 |
| 【良かったこと◎】 .....    | 12 |
| 【悪かったこと△】 .....    | 12 |
| 地域・周りの状況 .....     | 12 |
| コロナ禍・自粛生活への想い..... | 13 |

#### 家族関係

##### 【良かったこと◎】

- ・ 家族との関係はコロナを機に連絡頻度が増えるなど、密になった。(北海道・大学4年生)
- ・ 実家暮らしのため、家族と話す時間はそこまで変わらなかった。(関東地方・大学3年生)

##### 【悪かったこと△】

- ・ 正社員として働いていた前の職場では、直属の上司以外とうまくやれなかった。さらに、ADHDが発覚してから、親と些細なケンカが増えた。(東北地方・社会人(フリーター))
- ・ 最近、ここ数か月で今まで我慢していたのが爆発し、母親と喧嘩することもあった。(東北地方・社会人(フリーター))
- ・ 自粛の為なかなか家族と会う機会が無く、家族とのコミュニケーションは減少し、不安も感じた。(関東地方・大学2年生)
- ・ 母親とコロナ禍での自粛の意識が異なり、喧嘩をすることが頻繁にあった。オンライン授業で家にいることが増えたのもあって、ストレスを感じることもあった。(中部地方・大学3年生)
- ・ 自分の遠出もなくなり、母と家にいる時間が長くなった。仲はいいはずだが、いつも些細なことで喧嘩している。(九州地方・社会人(フリーター))

#### 地域・周りの状況

- ・ 近所付き合いがあまりないので、コロナにかかった人のうわさ話を聞くといいことはなかったが、バイト先のコロナへの意識が高く、自分も手洗い・うがいなどの基本的な対策は気を付けていた。(中部地方 大学3年生)
- ・ 私は地方に住んでいるので、感染者数に敏感で県外移動を懸念する人が多かった。(東北地方・短期大学2年生)

- ・父親が週3日祖父の家で家事を手伝っていることや、母親の仕事が依頼者さんがいる上で成立する職業であるためオンライン化できないこと、自分の大学が教育大学で実習が多い学校であること、弟がコロナ禍前半は受験生だったことからコロナ禍序盤の感染拡大の時期はピリピリしていた。学校に行くにもマスク必須で、マスク売り切れのニュースを聞くたびに備蓄足りるか不安ではあった。家に帰るとマスク外して手洗いうがい恒例となった。我が家やその周りで陽性の人が出たというのは聞いていない。(近畿地方・大学2年生)
- ・山口全体としての感染人数は少ないが、人口に対する感染者数が多かった時は高校の対策はもっと厳しかった。(中国地方・高校3年生)
- ・田舎のため、クラスターが発生すると調べられ、一瞬で場所が特定される。(中国地方・高校3年生)
- ・介護の利用者はコロナが怖いからと休む人はいた。(九州地方・高校3年生)
- ・長崎でやっていた太鼓はコロナで中止されていた。(九州地方・高校3年生)
- ・県外からの旅行客に対して、観光業以外の人、あまりいい顔をしていなかった。(九州地方・専門学校1年生)
- ・福岡は結構感染者が出ていた。正直無駄に出歩く人達に対してかなり疑問に思っていた。(九州地方・社会人(フリーター))
- ・緊急事態宣言が出てすぐの頃は外出を控えている人が多かったが、だんだんと慣れて外出している人が増えていった様に感じる。緊急事態宣言中に夜遅くに居酒屋さんでわいわいと騒いでいる様子をしばし見かけた。(関東地方・大学2年生)
- ・初めてコロナが出た時は噂話が出回ったが、次第に「大阪に住んでいるので、コロナが多いのは当たり前」だと感じ、人数等は気にしていない。(近畿地方・大学4年生)
- ・コロナが落ち着いた時に、府外に行くと、大阪から来たと言うと少し嫌な顔をされた。ただ、鳥取砂丘に行ったが関西圏ナンバーの車が多かった。(近畿地方・大学4年生)
- ・働いている居酒屋の客数は相変わらず多い。入店前からマスクをはずし、マスクを振り回しながら入ってくる客がいて、モラルを疑う。うどん屋の客層も悪く、マスクしていない人ばかりだ。コロナが怖いというよりも、そういうマナーがなっていない人がいるのが迷惑。(近畿地方・大学3年生)
- ・コロナ下でもアルバイト先には地元・県外問わずお客さんがたくさん来ていた。マスクはしているが、仕事柄、お客さんに言われて外すこともある。(九州地方・社会人(フリーター))
- ・奈良全体としては緊急事態宣言も出てないし、自粛の雰囲気はそこまでないと思う。しかし、緊急事態宣言中に働いている居酒屋に、大阪京都から人が来た際、あまりいい気はしなかった。(近畿地方・大学3年生)

#### コロナ禍・自粛生活への想い

- ・祖母が肺に基礎疾患を持っているため、親の実家にはコロナが流行ってから一度も行っていない。受験生だったころから丸4年以上会っていないため、コロナが落ち着いたころに一度行きたいなと思っている。母親や私たちの誕生日などの時に電話してくれたり手紙を送ってくれたりするものの、やはり顔を合わせて数年分の積もる話をしたいなと思う。(近畿地方・大学2

年生)

- ・成人式の時に帰省したが、コロナが怖かったため、会場には行ってない。成人式後、仲の良い友人1人とご飯だけ行った。(近畿地方・大学3年生)
- ・家族の仕事柄、感染対策に特に気を遣わないといけなかったため、帰省を控えた。(中部地方・社会人)
- ・自分の住む地域は感染者数が多い方だったが、身近に感染した人がいなかったため、マスコミが言うほどのコロナへの危機感や現実感があまりなかった。県外移動の自粛が呼びかけられたりもしていたが、県外の大学に毎日通っていたため、そもそもコロナ禍での移動への抵抗感が全くない。(中部地方・大学3年生)
- ・コロナに対して、最初は怖いと思っていたが、今は特に怖いと思ってない。もう感染者は結構多いから、かかったら仕方ないと思って普通に生活している。また、身近に感染した人もいないので、実感がわからない。(近畿地方・大学3年生)
- ・高校から、県外に出た人(受験等で県外に出る人が多かった)は2週間の自主隔離をするように言われていた。表立って言わなければ良いと思い、遊びに行っていたし、周りの友人の意識も似たような感じだった。(中国地方 高校3年生)
- ・地元はコロナを気にする人は気にするし、気にしない人は気にしないという感じだった。(九州地方 高校3年生)
- ・月一くらいで福岡に遊びにきている。コロナ禍でも、外出は特に変わらず、あまり気にせずしていた。(九州地方・社会人(フリーター))
- ・コロナへの意識や行動、ワクチンの接種など、“みんながやっているから”、“ニュースでたくさん報道されているから”といった理由で決めるのではなく、自分で情報を収集し、自分の意思で決定するべきではないかと思う。(中部地方 大学3年生)
- ・家族はコロナに対して、特になにも言ってこない。ワクチンを打たないでほしいと言われたが自分の判断で接種した。(近畿地方・大学3年生)
- ・家族はあまりコロナを気にする方ではなかったため、県外に出た姉は普通に帰省していた。あまり、大っぴらには言えないため仲がいい友達にしか言っていなかった。少し窮屈に感じた。(中国地方・高校3年生)
- ・家族各々が学校からとか様々なメディアからなど情報源が違う様々な情報に触れて振り回されたというのもあると思う。(近畿地方・大学2年生)
- ・致死率の低いかつ重症化リスクの低い若年層に対して、なぜここまで過剰な事実上の行動規制を課すのか意味が分からない。(東北地方・大学3年生)
- ・感染リスクの高い居酒屋や会食は避けた方が良いとは思いますが、普通に外出したり生活したりすることがなぜ制限されなければいけないのか分からない。(中部地方・大学3年生)
- ・生活の色々なことが制限されて、それが本当に感染拡大防止につながっているのか分からない。自粛そのものが目的になっているのではないか。(東北地方・大学3年生)

## 全国集会ヒアリング調査まとめ

### ④プライベート（私生活）

#### 目次

|                   |    |
|-------------------|----|
| 人間関係.....         | 15 |
| 【良かったこと◎】 .....   | 15 |
| 【悪かったこと△】 .....   | 15 |
| 自粛生活.....         | 16 |
| 【良かったこと◎】 .....   | 16 |
| 体調面 .....         | 17 |
| 【悪かったこと△】 .....   | 17 |
| その他（不安・不満等） ..... | 17 |

#### 人間関係

##### 【良かったこと◎】

- ・ あすのばの友達とのラインで元気をもらっている。（東北地方・社会人（フリーター））
- ・ あすのばが第2の家族な感じがして、安心感がある。（東北地方・社会人（フリーター））
- ・ 恋人と同棲しており、一人じゃなかったため、自粛生活でもそこまで辛くなかった。一人だったら辛かったと思う。（中部地方・社会人）
- ・ 同居している家族や定期的に会う恋人がいたため、精神的な孤独感を感じたりはしなかった。毎日話す人がいるのはすごく大きいと思う。（中部地方・大学3年生）
- ・ 恋人がいたから病んでないけど、一人だったら辛かったと思う。（近畿地方・大学3年生）
- ・ かかわりたくない人と距離を置くことができたのはよかった。（東北地方・社会人（フリーター））

##### 【悪かったこと△】

- ・ 中高時代の友人とは連絡を取る頻度が減り、疎遠になった。（北海道・大学4年生）
- ・ 友人の自粛に対する意識の程度が分からず、遊びに誘いにくくなり、対面で話す機会が減った。（東北地方・大学3年生）
- ・ コロナ禍であすのばから離れて、全体的に人間関係がだいぶ疎遠になり、関わる人数がかなり減った。（東北地方・社会人（フリーター））
- ・ あすのばから少し離れて思ったことは、あすのばでの人間関係はその場限りになっちゃう人が多いと感じる。連絡があまり続かなくなってしまう。（東北地方・社会人（フリーター））
- ・ 対面授業がないから外に出るのはバイトぐらいでほぼ家にいる。バイト先の人か恋人とくらいしかしゃべらない。（近畿地方・大学3年生）

## 自粛生活

### 【良かったこと◎】

- ・自分自身で感染予防をしっかりとしていたため、コロナ関係なく友人と遊んでいた。(北海道・大学4年生)
- ・帰省はもともと頻度が少ないため、影響はなかった。(近畿地方・大学3年生)
- ・自分の住む県は緊急事態宣言がでたこともなく、生活面での行動も特に制限はなかった。(近畿地方・大学3年生)
- ・遊ぶ時はだいたいドライブに行くため、コロナの影響は受けていない。(九州地方・専門学校1年生)
- ・好きなこと(趣味)にお金をかけるようになった。(北海道・大学4年生)
- ・家にいるのが好きで、大学の友人とも頻繁に遊んでいたわけではなかったため、コロナ前と変わらず家にいて、お家時間を楽しんだ。(中部地方・大学3年生)
- ・元々、インドアで家にいることが多いため、この自粛生活やオンライン授業は自分に合っていると思う。(中国地方・高校3年生)
- ・勉強の面できつかったことはあるが、有意義なおうち時間をすごしたため、あんまりコロナで困ったことはなかった。(中国地方・高校3年生)
- ・コロナになったことで困ったことや心の変化は特にない。コロナ前路あまり変わらない生活を送っている。(九州地方・社会人(フリーター))
- ・元々インドア派なので、コロナの影響はあまり受けていない。(九州地方・専門学校2年生)
- ・コロナ禍でオンラインが発達しているため、趣味の活動など私生活で困ったことはない。(九州地方・専門学校2年生)
- ・コロナ前は、たまに友達と居酒屋に行ったり宅飲みをしたりしていたが、コロナでそれらがなくなり出費が減って嬉しい。(中部地方・大学3年生)
- ・コロナだからこそやれることをやればよかったと考えていた。けど、よく考えたら、コロナ前から自粛していたため関係なかった。(九州地方・社会人(フリーター))
- ・周りで困っている人もあまりいない。弟がオープンキャンパスに行けないと言っていたが、そこまで困っている感じではなさそう。(近畿地方・大学3年生)
- ・go to eat や go to travel、県や市の go to 先駆け事業、プレミアム付き商品券は、かなり利用していた。(九州地方・社会人(フリーター))

### 【悪かったこと△】

- ・車があるため、公共交通機関を使うことに比べ、外出にはあまり抵抗はなくアウトドアの趣味もあるが、県をまたぐ移動はできるだけ避けた。(中部地方・社会人)
- ・元々、アウトドアで旅行が好きだったがコロナで行けなくなり元気が有り余っている。(近畿地方・大学4年生)
- ・家ではゲームはしないので、youtube を見るが見すぎて飽きてしまった。(近畿地方・大学4年生)
- ・家に籠ることが多い。(九州地方・高校3年生)

- ・高校を卒業してから、コロナの影響でグループホームの入所がなかなか決まらなかった。  
(九州地方・社会人)
- ・時短で飲食店が早く閉まるようになったため、外食がしにくくなったのが辛かった。コロナ前は家事の負担を減らすために週1で外食をしていたため、フルタイムで働いた後に、毎日ご飯を作らなければいけないのが大変だった。(中部地方・社会人)
- ・緊急事態中は、夜どこも店がやっていなくて、きつかった。(九州地方・社会人(フリーター))
- ・唯一のストレスは、外食に気軽に行けないことである。(関東地方・大学2年生)
- ・生活のためにたくさん働く必要があるが、そうすると時間的にも体力的にも外食が必須になる。コロナでの時短営業により外食に頼れなかった時期は、家事と仕事で余裕がなくなり精神的に辛かった。(中部地方・社会人)
- ・コロナでカラオケが閉まったため、行かなくなった。(九州地方・専門学校1年生)
- ・高校の卒業旅行で東京に行くことを考えており、飛行機や宿の予約をしていたが、コロナで行けなくなった。しかし、キャンセル料は半分しか戻ってこなかった。(九州地方・専門学校1年生)
- ・親が嫌がるため、飲み会や旅行を断念した。(九州地方・社会人(フリーター))
- ・卒業旅行で海外旅行に行きたいと考えていたが、コロナの影響で断念せざるを得なくなった。  
(中部地方・大学院1年生)
- ・コロナ禍で大学の部活の飲み会などが無くなった。お酒が好きだったので少しショックだった。(中部地方・大学院1年生)

## 体調面

### 【悪かったこと△】

- ・大学がオンデマンドだけだった時期は昼夜逆転の生活をしていた。(北海道・大学4年生)
- ・オンライン授業の時は、不健康な生活リズムになりがちだった。(東北地方・短期大学2年生)
- ・家で過ごす時間が増えたことで精神的にストレスを感じ、一度体調を崩した。  
(東北地方・短期大学2年生)
- ・コロナというより、単純に精神面での体調が心配。(東北地方・社会人(フリーター))
- ・家の中にいて一人で過ごす時間が多く、免疫が低下したり、ストレスを感じたりして、体調を崩すことが多かった。(関東地方・大学2年生)
- ・コロナ禍で外出ができなくなり、ストレスを抱え込んだ。(九州地方・社会人)

## その他(不安・不満等)

- ・世間がコロナばかりで嫌になって、情報を入れないようになった。(九州地方・高校3年生)
- ・緊急事態宣言が出るかどうかで生活が大きく変わった。正直、振り回された感は否めない。これ以上何かが大きく変わるとなると、きついなってしまう。これ以上は振り回さないで欲しい。

(近畿地方・大学2年生)

- ・大学や政府が決めたことに従わないとバッシングされそう。(近畿地方・大学2年生)
- ・コロナ禍で外に行けない分中で何かに向き合う時間が増えたけれど、自分はそっちの方が性に合わないなと感じている。自分に向き合ったり家族とか狭い人のつながりしか見る機会がなくなったりすると、息苦しさを感じた。(近畿地方・大学2年生)
- ・早くマスクを外したい。(中部地方・大学3年生)
- ・マスクは息苦しくて嫌だ。しかし、マスクをしていない人を見ても特に何も思わなかった。

(関東地方・大学2年生)

- ・卒業旅行に行きたい。(近畿地方・大学4年生)
- ・オリンピックは結構楽しみにしていたが、コロナのせいで全然あった気がしない。(九州地方・社会人(フリーター))

## 全国集会ヒアリング調査まとめ

### ⑤その他（政府・社会全体・あすのばへの想い・意見など）

#### 【コロナ関連】

##### あすのばに対して

- ・「子どもの貧困対策」として、あすのばの行事でいえば、全国集会での発信、キャンプ、合宿等の直接支援を早く再開してほしい。（東北地方・社会人（フリーター））
- ・今後も子どもや学生の声を届けてほしい。（九州地方・専門学校2年生）
- ・オンラインでもいいので、集まるイベントを定期的にやってほしい。（九州地方・専門学校2年生）

##### 国・社会全体に関連すること

- ・国がやろうとしている給付金の対象者ややり方に疑問を感じる。ひとくくりで子どもや大学生としても、色々な状況があるため、もっと必要としている人を見極めて支援してほしい。（中部地方・社会人）
- ・お金を配るのであれば、対象をもっと絞り、本当に困っている人に配ってほしい。（九州地方・専門学校1年生）
- ・また、10万円を配るといような話があるが、そのお金でもっと根本的な解決につながる別の政策を考えてほしい。税金で支払った分が返ってきているだけなので、後から増税されるのではと不安に感じている。（九州地方・専門学校1年生）
- ・10万円を配る前に、政治家の給料を減らしてほしい。（九州地方・専門学校1年生）
- ・コロナで観光客がいない今、日本にいる外国人は、「生活者」。観光客がいないからこそ、日本で生活をしている外国人に目を向ける必要がある。（近畿地方・大学3年生）
- ・高校生世代よりも大人の方が困っているんじゃないか？（中国地方・高校3年生）
- ・コロナの死者数よりも自殺者数の方が何倍も多い。コロナ以外で苦しんでいる人にももっと目を向けてほしい。（東北地方・大学3年生）
- ・アベノマスクが届かなかった。（九州地方・社会人（フリーター））
- ・10万円の給付金がありがたかった。（九州地方・社会人（フリーター））
- ・少子高齢化が進んでいるため、このまま日本が存続していけるのか不安。（九州地方・専門学校1年生）
- ・コロナ禍の報道で、無理にコロナと結び付けている感がある報道があったと感じた。みんなには、コロナであろうと、明るく生きてもらいたい。（九州地方・社会人（フリーター））

##### 個人に関連すること

- ・「若者」や「大学生」とひとくくりになされて扱われ続けるのには疲れた。政府や報道する立場の人って個人を見ていないのだなというのを強く感じた。（近畿地方・大学2年生）
- ・生活が変わる過程で若者の声って生かされているのかなと思った。良かれと思ってやっているのだろうけれど、大きなお世話であったり足りなかったり。本当に求めているものが届いたという実感はない。（近畿地方・大学2年生）